

# 試運転

排気ダクトファングリルサイレンサーが運転を開始すると、この給気グリルサイレンサーが連動してシャッターが開き、自然給気を行います。  
運転を停止すると連動して、シャッターが閉じます。

# お手入れ

グリルやフィルターにほこりが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。  
約2~3か月に1度を目安に清掃してください。

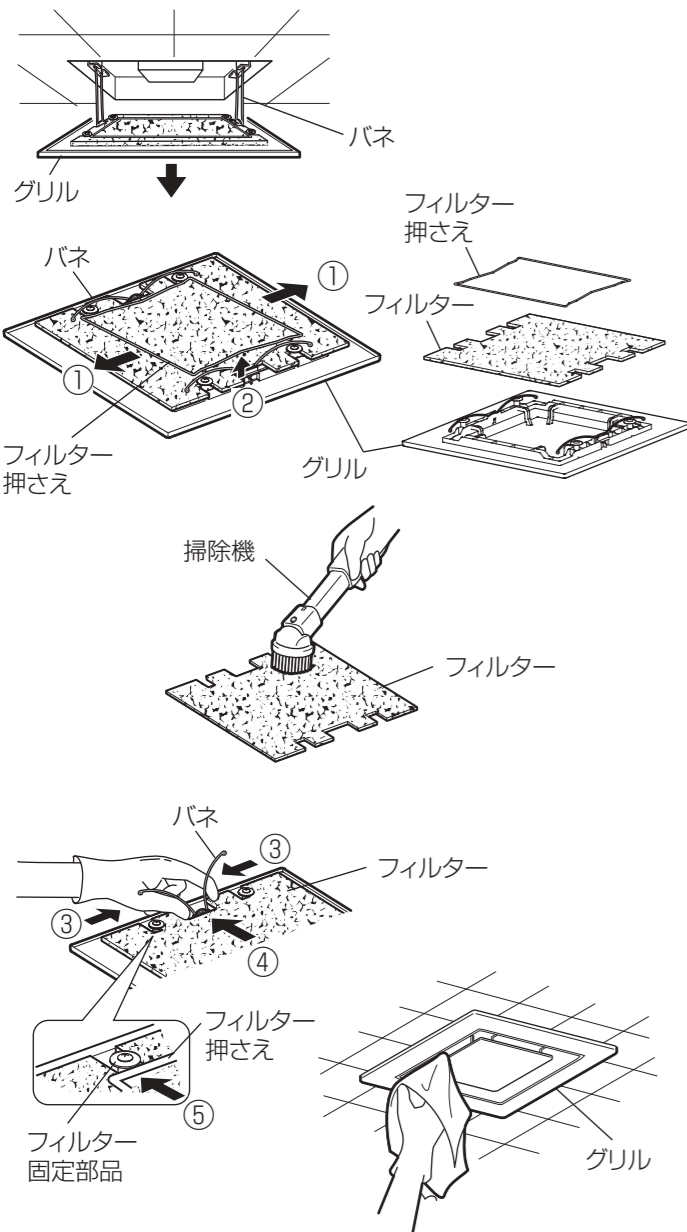
■お手入れの際は足元が不安定な状態で部品の着脱を行わないでください。

## 警告

- お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る  
(通電状態では感電やけがをすることがあります)

## 注意

- お手入れの際は手袋を着用する  
(着用しないとけがをすることがあります)
- お手入れ後の部品の取付けは確実に行う  
(落下によりけがをすることがあります)



- 1.グリルを下げる。(バネで止まる状態にする)
- 2.左右のバネを縮めた状態で長穴からはずす。
- 3.フィルターをはずす。
  - (1) フィルター押さえを固定部品からはずす。
    - ①フィルター押さえの中央を持ち、矢印の方向に軽く引っ張りながら、②上側に持ち上げる。(中央を引っ張ることで簡単にはずれます)
  - (2) フィルターをはずす。
- 4.フィルターの清掃をする。
  - 軽く手でたたか、または掃除機でほこりを吸い取る。
  - 汚れのひどい場合(半年に1回を目安)は、水またはぬるま湯(40℃以下)に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。
  - 水洗い回数5~6回を目安に交換用フィルターと交換する。交換用フィルター購入方法については、大建工業にお問い合わせください。
- 5.清掃後、フィルターをグリルに取付ける。
  - (1) フィルターを取付ける。
    - ③バネを軽くつまみ、④フィルターを挿入する。(両側とも)
  - (2) フィルター押さえを取付ける。
    - ⑤フィルター押さえの片側を固定部品の下側に潜り込ませるように挿入し、もう片側を①と同様の作業を行いながら確実に取付ける。
- 6.グリル表面の汚れを清掃する。
  - 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう乾いた布でよくふき取る。
- 7.はずした手順と逆にグリルを取付ける。(上記2→1)

## お願い

- パネルをはずす際に虫やほこりが落下する場合がありますのでご注意ください。
- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。  
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入の洗剤(変質・変色する原因になります)
- フィルターを熱湯で洗ったり、もみ洗いしたり、直接火で乾かすことをしないでください。

# 大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス  
<http://www.daiken.jp/>

## お問い合わせ

### サウンドセンター

東京 TEL(03)6271-7785 大阪 TEL(06)6205-7245  
受付時間: 平日10:00~17:00(土・日・祝日・年末年始・お盆は休みとなります。)

# DAIKEN

防音ダクト換気扇32C型

形名

給気グリルサイレンサー SB0303-B02

1707874HK7605

# 取付・取扱説明書

- この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために正しい取付けが必要です。
- 取付けを始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
- 取付けは工事店さまが実施してください。
- 接続ダクトは市販品のVU管(4番管・呼び径φ100)をご用意ください。

**取付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。**

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

警告		注意	
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
取付時	指示に従い必ず行う	禁止	●直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない (火災のおそれがあります)
	指示に従い必ず行う	商品・シャワー室での使用禁止	●浴室など湿気の多い場所には取付けない (漏電および故障の原因となります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●本体の取付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う (落下によりけがをすることがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●電気工事は必ず電気工事店に依頼する (間違った電気工事は感電のおそれがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●本体の取付位置はガス機器の設備基準に従って炎の立ち消え等ガス機器への悪影響のない位置で室内が良く換気される位置とする (炎の立ち消え等で一酸化炭素中毒を起こすことがあります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●取付け、お手入れの際は手袋を着用する (着用しないとけがをすることがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●部品の取付けは確実に行う (落下によりけがをすることがあります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない (本体・部品の落下によりけがをすることがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る (絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●給気グリルサイレンサーや金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接触しないように取付ける (接触して取付けると漏電した場合、発火することがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●漏電しゃ断器を取付ける (故障や漏電のときショートや感電のおそれがあります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●火災警報器がある場合は、感知部から1.5m以上離れたところに取付ける
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●製品を水につけたり、水をかけたりしない (ショートや感電のおそれがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●改造や必要以上の分解はしない (火災・感電・けがの原因になります)
取付時	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切る (通電状態では感電やけがをすることがあります)
	指示に従い必ず行う	指示に従い必ず行う	

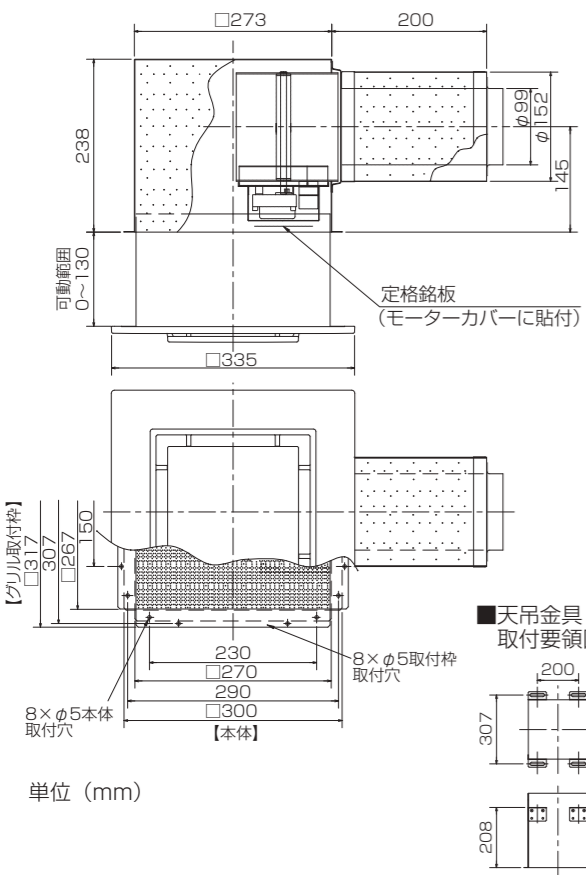
## 取付け前のお願い

- 設置場所または、室外温度が0℃を下回る場合は本体および配管に断熱を施してください。
- 設置場所または、室外温度が-10℃以下となる場所では使用できません。

## ご使用にあたってのお願い

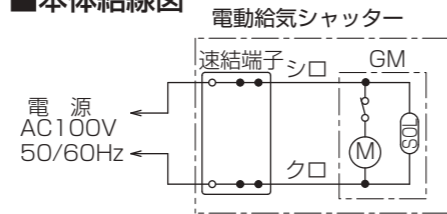
- 下記環境下では、グリルから結露水が滴下することがありますので、乾いた布で拭き取ってください。  
室外温度が-5℃を下回り、かつ室内温度が20℃、湿度50%RH以上

## 外形寸法図

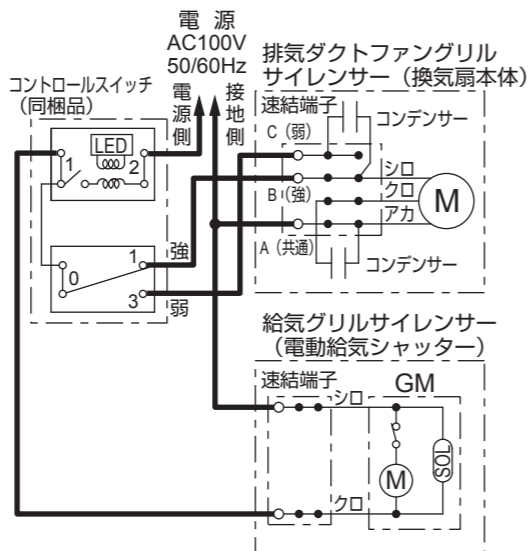


■製品質量 7.5Kg

### ■本体結線図



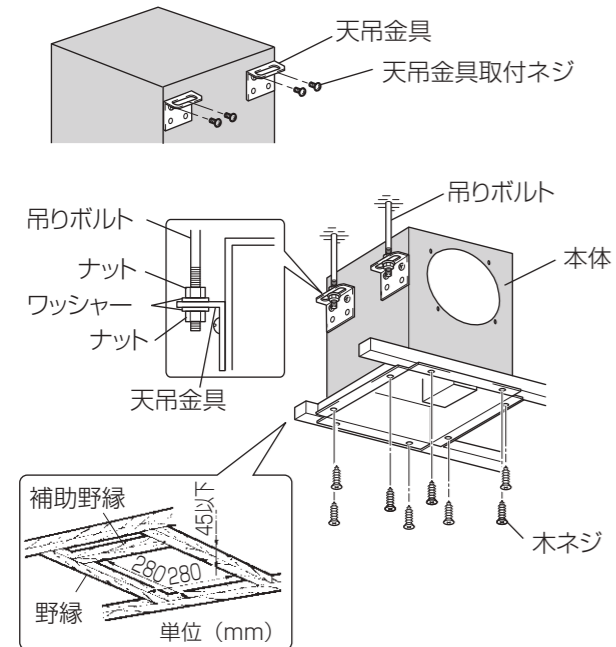
### ■システム結線図



### ■付属部品

ダクト接続口 …1個	
本体取付木ネジ…8本 取付枠固定木ネジ…8本	
天吊金具…4個	
ダクト接続口取付ネジ…4本 天吊金具取付ネジ…8本 グリル取付枠固定ネジ…4本	
吊ボルト (L=200mm) …4本	
グリル…1個	
グリル取付枠…1個	
ふさぎ板…1個	
※天井厚さ50mm以下の場合には使用しません。	
クッション…1本	

## 取付方法



### ■本体の取付け

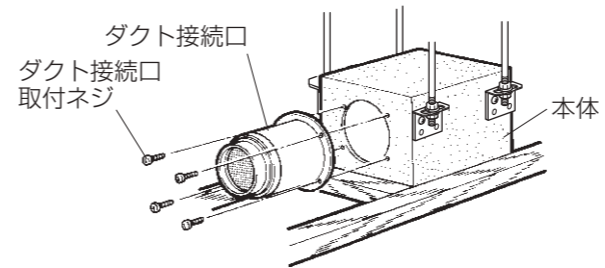
1. 付属の天吊金具 (4個) を付属の天吊金具取付ネジ (8本) で本体に固定する。  
●野縁が先に組み込まれている場合は、〔3-1-2〕の順で本体を取付けてください。
2. 接続口が外壁部材に向くように本体の天吊金具を吊りボルトに通し、ナット・ワッシャーで確実に固定する。

### ■お願い

- 吊りボルトは梁などの強固な取付場所に取付けてください。
3. 内寸が左図の寸法になるように天井の野縁と補助野縁で取付枠を組み、付属の木ネジ (8本) で確実に固定する。

### ダクト接続口の取付け

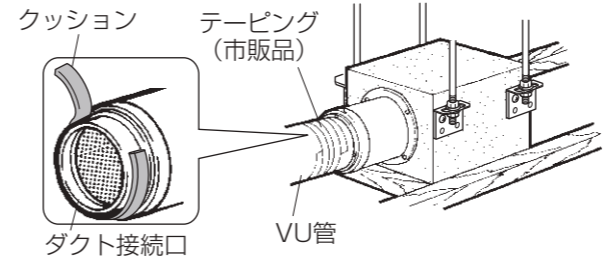
付属のダクト接続口取付ネジ (4本) でダクト接続口を本体に取付ける。



### VU管の接続

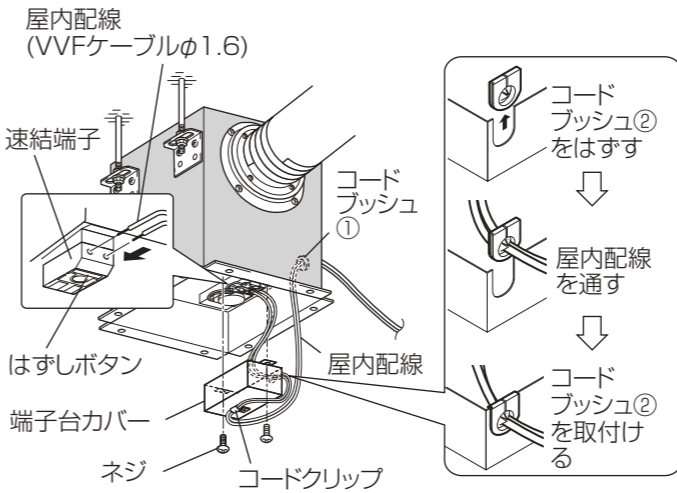
ダクト接続口にVU管をしっかりと差し込み、風漏れのないよう外周にコーキングを施すかまたはテーピングする。

- VU管は本体に力が加わらないよう天井より吊してください。
- ダクト接続口とVU管の接続部のすき間が大きい場合は、ダクト接続口の中央付近に付属のクッションを巻き付けてください。



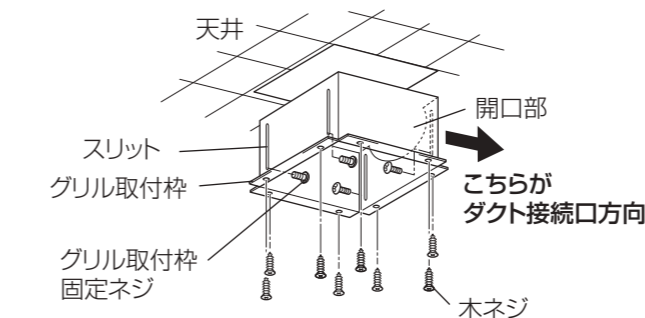
### 電気工事

1. 排気ダクトファングリルサイレンサーからの屋内配線をコードブッシュ①を通して本体内に引き込む。
2. ネジ2本をはずして端子台カバーをはずす。
3. 屋内配線を速結端子に接続する。  
●電源線はVVFφ1.6 2芯をご使用ください。  
●排気ダクトファングリルサイレンサーとの結線は、結線図を参照して行ってください。
4. 屋内配線を軽く引っ張って抜けないことを確認する。  
●屋内配線を速結端子からはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン (白色) を押しながら屋内配線を引っ張ってはずしてください。
5. 余剰な屋内配線を元へもどす。
6. 端子台カバーに付いているコードブッシュ②をはずし、コードブッシュ②に屋内配線を通す。
7. コードブッシュ②を移動させて端子台カバーに元通り取付け、端子台カバーをはずしたネジで固定する。
8. コードクリップに屋内配線を通し、取付ネジで固定する。



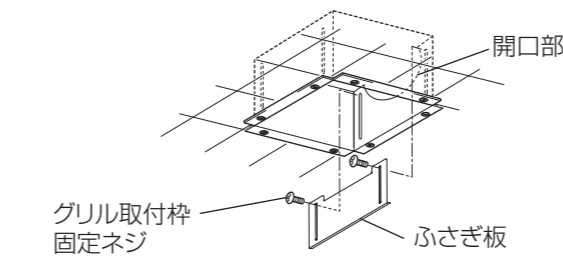
### 天井板を張り、グリル取付枠を取付ける

1. 開口部がダクト接続口側になるようグリル取付枠を本体に差し込む。
2. フランジ部を天井面に付属の木ネジ (8本) で確実に固定する。  
●付属の木ネジが下地に届かない場合は、市販の木ネジで下地に確実に固定してください。
3. グリル取付枠固定ネジ (4本) でスリット部4か所を本体内側から本体に確実に固定する。  
●グリル取付枠のスリット部は市販のアルミテープでふさいでください。



### 天井厚さ50mm以上の場合

- グリル取付枠の開口部をふさぎ板でふさぐ。(片側のみ)
- グリル取付枠固定ネジで共締めしてください。



### グリルの取付け

バネを縮めるように持って長穴に差し込み、グリルを軽く押す。

